

ご採用にあたり

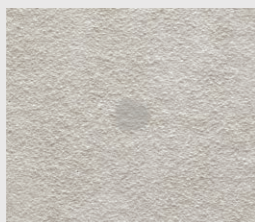
本製品のご採用に際しては、「外壁材設計施工マニュアル」を必ずお読みの上、設計・施工を行って頂きますようお願い致します。

商品について

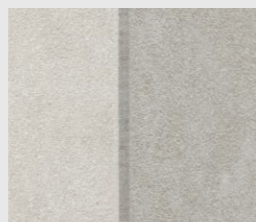
- 製品本体保証の対象となります(色の保証はございません)。保証の内容に関しては「SOLIDO typeF facade」(ウェブサイト)をご覧ください。
- **本製品の販売地域は一般地域です。寒冷地域では凍害現象が発生する可能性があるため、販売しておりません。**
詳細は本カタログP.10またはSOLIDOウェブサイトをご確認ください。
- 本製品は素材から出た自然な色合いの為、一枚一枚の色、白華の風合いが大きく異なります。
また、似た風合いの製品が混ざる場合がありますが、色味、風合いの指定はできません。色味、風合いについての返品・交換は致しかねます。
- シーリングと現場仕上げ塗料はイメージ色で設定しています。
- 出隅角部は、面取り加工を施し、イメージ色の現場仕上げ塗料にて仕上げています。



シーリング

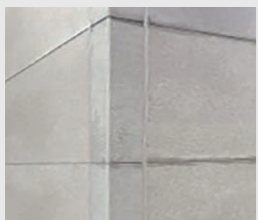


現場仕上げ塗料

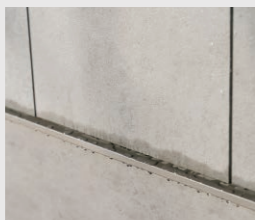


出隅角部

- 本製品は雨水等の水掛かりにより、部分的に写真のような雨染みが生じる場合がありますが、品質の問題はございません。
本製品が乾燥すると自然に目立ちにくくなります。本現象が事由での交換、補修は致しかねます。
軒の出を長く設計する等、本製品の雨掛かりを抑える事で本現象は軽減できます。



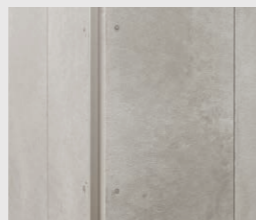
本体・同質出隅周辺



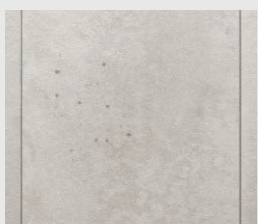
本体周囲



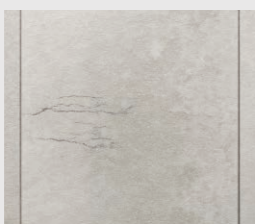
接合部



釘部周辺



本体粒状



本体しわ状

設計上のご注意

- 弊社が定めた「外壁材設計施工マニュアル」をご確認いただき、適切に設計・施工してください。
「外壁材設計施工マニュアル」に記載する設計基準、施工基準を満たさない仕様により製品の不具合が発生した場合、当社では責任を負いかねます。
- 本製品は準不燃材料です。不燃材料を要求される部位には使用できません。
- 本製品は通気構法を標準施工法としています。
- 防水設計について
 - ・本製品等による一次防水と、透湿防水シート等による二次防水の二重構造で雨水の浸入を防ぎます。
 - ・強風雨時には本製品裏面に雨水が廻ることが考えられるため、透湿防水シートや防水テープ等の二次防水用部材を正しく施工することが重要です。
- サッシの選定
 - ・本製品や胴縁、金具の厚さを考慮し、本製品表面よりサッシ枠が出る外付けタイプ又は、半外付けタイプの使用を原則としています。
 - ・サッシ下枠の水切りの出寸法が本製品表面より30mm程度確保できるものを選定してください。出寸法を確保できない場合は、伝い水防止水切りや皿板水切り(現地調達)を取り付けて、サッシから流れた水が本製品表面を伝わらないようにしてください。
- 換気フードの選定
 - ・換気フードからの排水が本製品表面を伝わらないものを選定してください。
 - ・用途に合った換気フードを使用してください。(機械式吸排気用、自然吸排気等)
 - ・換気フードからの排気流が直接本製品にあたらないように、換気フードの選定または納まりを検討してください。
 - ・接続パイプは本製品表面よりも出し、本製品とのすき間にシーリングをして、確実に防水を行ってください。
 - ・接続パイプと換気フードとの間の止水を確実に行ってください。
- 内装材としてご使用いただく場合
 - ・本製品は準不燃材料です。不燃材料を要求される部位への施工はできません。
 - ・本製品を内装材として使用する際の施工仕様は設定していません。
 - ・ご採用者様にて、施工法や留付け部材、関連部材等、内装材として適切なものを選定の上、施工してください。
本製品の固定方法としては、意匠性を考慮して金具留め施工をおすすめします。
 - ・本製品の接着工法での留付けは、当社で安全性などの確認・検証ができておりませんのでお止めください。本製品が落下するおそれがあります。
 - ・防耐火構造認定等の法規制については、採用される認定や使用される部位の規制等を確認頂き、使用可否判断を行ってください。
 - ・本製品は「住宅部材VOC表示ガイドライン」の対象外ですが、VOC放散速度の確認をしています。

VOC放散速度について【外部機関測定結果及びVOC放散速度基準値】(外部機関:パナソニック(株)プロダクト解析センター)

	VOC放散速度(単位:µg/mh)					
	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	クロルピリホス
SOLIDO typeF facade	0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	N.D.
基準値(上限値)	5	38	29	550	32	—

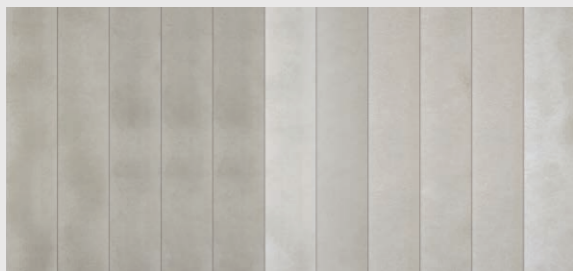
※「建材からのVOC放散速度基準」に規定されている試験方法である JIS A 1901 (小型チャンバー法)の試験開始後7日目の測定結果です。
試験条件は、試験負荷率 2.2m³/m²・換気回数 0.5回/時間、温度28℃、湿度50%です。 N.D.:不検出

- ・詳細は「外壁材設計施工マニュアル」の「参考資料 ▶ 外装仕上げ以外の用途での使用 ▶ 内装材としての使用」の項目をご確認ください。

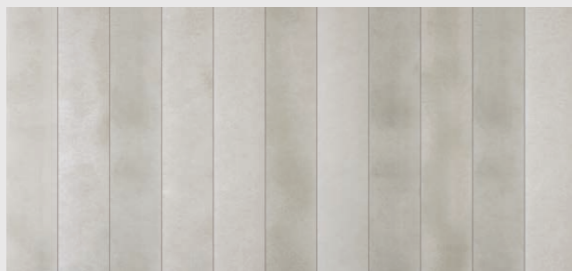
安全・使用上のご注意

- 本製品は専門施工が必要です。必ず施工は専門施工業者が行ってください。お施主様ご自身で施工は行わないでください。
- ご使用前に「外壁材設計施工マニュアル」に記載する「安全上のご注意」をよくお読みの上、本製品を安全に正しくお使いください。使用者や他の人々への危害・損害を未然に防止するために必ずお守りいただくことを説明しています。
- 本製品の工事は高所作業を伴います。正しい服装と保護具を着用し、足場の点検を行ってください。
- 本製品は重量物です。運搬時には安全に十分注意してください。けがをするおそれがあります。
- 切断作業の時は防塵マスクを着用し、集塵装置付きのカッターを使用してください。健康をそこなうおそれがあります。
- 本製品はセメント製品ですので取扱いは手袋を着用してください。特に濡れた本製品を扱う場合は、ゴム手袋等の保護具を着用してください。肌が荒れるおそれがあります。
- 屋内外での保管
 - ・保管は堅く平らな場所に置いてください。
 - ・本製品、施工部材、木材を保管する際は、地面に直接置かず水に濡らさないようにし、必ず防水シートをかけ、雨ざらしにしないでください。出荷時の付属のカバーは、汚れ防止用であり、防水用ではありません。
- 持運び時は、木端立てにして運んでください。大きくなると、割れや表面クラック発生の原因になります。
- 一枚一枚の色味、風合いが大きく異なりますが、製造上色味、風合いの近い商品がかたよって出荷される場合があります。施工前に仮並べをして配置を検討してから施工することをおすすめします。

〈色味を確認しなかった例〉



〈色味を確認して配置を検討した例〉



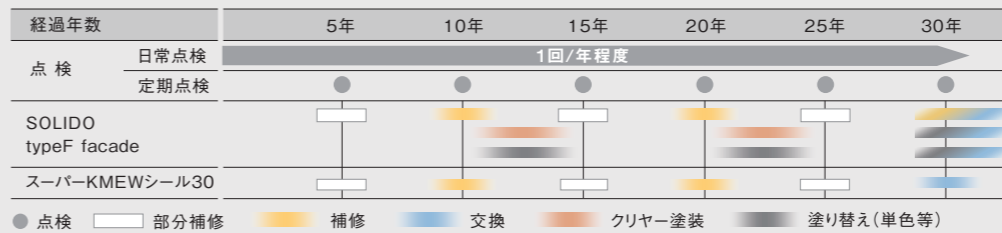
- 釘、留め金具は弊社純正品を使用してください。
- 開口部等、合じゃくりを切断する部分では留め金具が使用できません。金具の厚みに合わせたスペーサーを入れ、本製品表面に先孔をあけてから釘、ビスで留付けてください。
- 縦目地部のハット型ジョイナーは1m程度の間隔で捨て板部に釘(またはビス)で留付けてください。(本製品の横ずれ防止のため)
- 横張りの場合、入隅部、開口部横では、必ずハット型ジョイナー(片側タイプ)を取付けてください。(本製品の横ずれ防止のため)
- 増改築等によって既存の建物とまたがって施工することはできません。建物の挙動の違いから本製品の割れや落下の原因となります。
- 本製品の施工後に付帯物等を後付けする場合は、取付け釘打ち位置に胴縁またはスペーサーを本製品施工前に必ず留付けてください。
- 切断木口面から吸水しにくくなるように、シーリングをしなない切断木口面には必ず専用の防水シーラーをはみ出さないように塗布してください。
- シーリングの施工
 - ・シーリング材は、弊社純正品を使用してください。
 - ・シーリング性能は、材質だけでなく施工時の環境や施工方法に大きく影響を受けますので、施工説明書をよくお読みの上使用してください。
 - ・ハット型ジョイナーは、シーリングの適正な幅・深さを確保するため、本製品の板厚・工法に応じた専用のものを使用してください。
 - ・接着力の強いマスキングテープを使用しないでください。マスキングテープを1日以上貼置きしないでください。また、雨天中の貼置きは避けてください。
 - ・本製品の被着面には、必ず専用プライマーを塗布してください。プライマーはシーリング接着面以外に塗布しないでください。
- 仕上方法
 - ・現場仕上げ塗料(補修塗料)については、取り扱い説明をご参照のうえ補修方法や使用時間等に注意して使用してください。
 - ・現場仕上げ塗料(補修塗料)はイメージ色です。補修の際はできるだけ目立たないように補修してください。塗り過ぎると目立ちます。
 - ・パテ仕上げの箇所には、現場仕上げ塗料(補修塗料)パテ部補修用を使用してください。それ以外の補修箇所には、現場仕上げ塗料(補修塗料)を使用してください。

お手入れ方法について

- 高い所など危険をとまう部位は、専門業者様が行ってください。お施主様ご自身で行わないでください。
- 鳥の糞、砂ぼこり、藻、カビ等の汚れを落とす場合には、布や柔らかいスポンジ等を利用して軽く水洗いしてください。その際は本製品表面を傷つけないように十分に注意してください。水洗いで落ちない場合は、薄めた中性洗剤を布等につけて軽くふき落としてください。※藻やカビ等は、雨水が当たりやすい、湿気が多い等、菌が繁殖しやすい条件が整えば、どこにでも繁殖していきます。
- 本製品表面を痛めるおそれがありますので、下記の使用は避けてください。
 - ①シンナー等の溶剤 ②金属タワシ等の硬いブラシ ③高圧水による洗浄やスチーム洗浄
- 水洗いする際の散水は、必ず本製品に対して下向きに行ってください。上向きに散水すると、接合部より漏水するおそれがあります。
- 土台部、屋根下部、入隅部、ベランダ等で落雪や積雪、吹き溜まりができる部分では、本製品が劣化するおそれがありますので、積雪をこまめに除去してください。

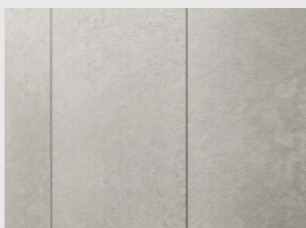
維持管理について

- このメンテナンススケジュールはお客様がメンテナンス計画を立てる際に目安とするためのご提案です。
- 定期点検は、5年に1回程度を目安に専門業者様にて行う点検となります。
- 日常点検は、1年に1回程度を目安にお施主様ご自身にて目視で確認できる範囲での点検となります。外壁に気になる変化を見つけた場合は、専門業者様にて再度ご確認いただき、必要な場合は早めのメンテナンスをお願いします。

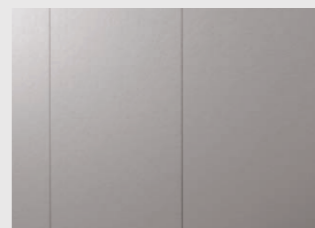


建築物の地域、環境や使用条件によって劣化の進行状況が異なりますので、目安としてご利用ください。メンテナンス時期および内容を保証するものではありません。塗り替えについては、当社指定の塗料を使用した場合を想定しています。塗り替え後のメンテナンス時期は、使用した塗料により異なりますので専門の業者等にご確認ください。

- 本製品は10～15年を目安に、クリヤー塗料による塗り替えが必要です。
 - ・当社指定のクリヤー塗料を使用する事で、自然の風合いを残した再塗装ができます。ただし、初期の状態と比較すると艶が出ます。
 - ・表面の劣化状況によっては、クリヤー塗料ではなく有色塗料による単色仕上げとなる場合があります。



クリヤー仕上げ(イメージ)



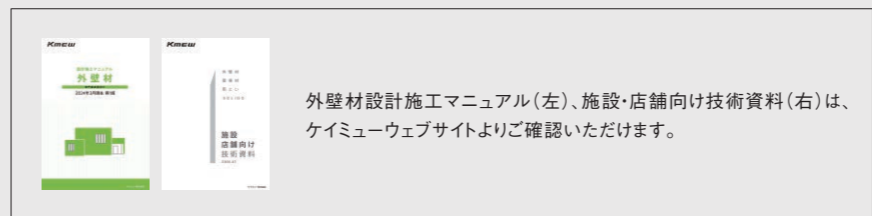
単色仕上げ(イメージ)

- 現地塗装用塗料や塗装仕様等については、下記に相談してください。

菊水化学工業(株) 名古屋支店
TEL 0568-69-5200

ご購入の前に

- ご購入の前に
 - ・このカタログ掲載商品のメーカー希望小売価格には、配送・設備調整費・工事費、使用済みの商品引取り費等は含まれておりません。
 - ・商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
 - ・印刷物と実物とは多少色味が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- このカタログ内容についてのお問合せは、お近くの販売店にご相談ください。もし販売店でお分かりにならないときには、弊社におたずねください。
- ご注文に際して
 - ・お買い上げに際してのお届けは、**現場配送の場合は軒先渡しとなります。**
 - ・その他の配送条件は、当社窯業系サイディングと同様になります。



- 商品に関するお問い合わせは、最寄りの営業所または、ケイミューホームページからお願いいたします。

ケイミューホームページ <https://www.kmew.co.jp/inquiry/>

カタログ、サンプルのご請求は、最寄りのケイミュー営業所にお問い合わせください。カタログのご依頼はホームページからお申込みいただけます。 <https://www.kmew.co.jp/catalog/>



ウェブサイトでSOLIDO typeF facadeの仕様、納まり図、施工事例、最新情報等のご紹介しております。
<https://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/>



ケイミュー株式会社
〔〒540-6013〕大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー 13F
©KMEW Co., Ltd. 2026
このカタログの記載内容は2026年1月現在のものです。
■X7B269 26.01.30

ケイミュー株式会社のホームページアドレス <https://www.kmew.co.jp/>